

# エアゾル剤による りんご樹体内のヒメボクトウ防除法

りんごの生産に重大な影響を及ぼす害虫ヒメボクトウの防除については、**幼虫が枝幹へ食入する前にジアミド剤を散布**する方法が普及していますが、この方法ではすでに枝幹に食入している幼虫を殺虫することはできませんでした。

そこで、りんご研究所では**エアゾル剤を用いて樹体内の幼虫を殺虫**する方法を検討し、高い効果があることを明らかにしたので紹介します。

## ヒメボクトウによるりんご樹の被害

- ◆ ヒメボクトウは、幼虫がりんごの枝幹内部を集団で食害する。
- ◆ 幼虫によって食害された部位より先の枝幹が衰弱して枯死したり、積雪時に雪の重みで枝が折れやすくなったりすることから、りんごの生産に重大な影響を及ぼす。



ヒメボクトウ成虫



幼虫



被害枝（幼虫が枝幹へ食入）

## エアゾル剤の使用法

エアゾル剤は、容器に充填されたガスの力で成分を噴霧するスプレータイプの殺虫剤。

作物名	薬剤名	有効成分	使用時期	使用回数
りんご	ロビンフード	フェンプロパトリン	収穫前日まで	2回以内
	園芸用キンチョールE	ペルメトリン	収穫後から摘果期まで	2回以内



- ◆ 糞の排出がない場合  
→ すでに蛹や成虫となっているため、効果はない。

- ◆ 被害部の範囲を確認  
→ 入り組んだ坑道内に確実に薬液を到達させる。

- ◆ 逆流した薬液に注意  
→ 果実や葉に、逆流した薬液がかからないよう注意する。